谷戸の風 ㊸

麻雀談義

山内静夫

扇ヶ谷の谷戸の一つ、浄光明寺のある谷戸、寺の手前、隣り合っていた里見弴の家、即ち私の父の住んでいた所である。私の家から歩いて10分そこそこの距離だった。麻雀の面子に呼び出されて、暗い夜道を通ったものだ。

毎日新聞の山口さん、読売新聞の山村さん、それと松竹の演劇の竹崎さん、三人仲もよく皆さん私より年上だったが、私を含めて三人は姓に「山」がつくので「さんざん」して一人は「竹」で「三山一竹」と名づけられていた。

家の中の片付けや整理仕事などにもかり出されるような親しい父の子分たちでもあった。言わずもがな、皆さん麻雀好きは人並み以上だった。父はそういう気のおけない仲間みたいな人間関係が好きだった。反対に周りからはその懐の深さみたいな処が愛されたのだと思う。

麻雀グループも次第に人がふえて四回に一回ぐらい「ポンクラブ」と称して十五、六人集って大会をやったりした。

もうひとり忘れられない人がいた。久生十蘭さんだ。里見弴のかくれファンのようで、いつ親しくなったのか、いつのまにか麻雀メンバーの有力な一人となって、里見家から流れて久生家で朝までやったりした事もあった。おだやかなやわらかい人柄だった。麻雀は残念ながら無類に弱く、いつでも財布の紐をゆるめていた。だから好かれる。そんなレベルをはるかに突きぬけた立派な人だった。どうしても忘れられない。

勝負事をすると人柄が出るとはよく言われる。生れつき勝負ごとの強い人、弱い人はたしかにある、然しそれと勝ち方、負け方は別ものだ。勝っても負けても、その人のうしろ姿は、すっきりと美くしくありたいものだ。

木版画　藤本宿

地引き網で三世代交流

老人会や漁連が協力

鎌倉の坂ノ下海岸で晴天の10月20日、地引網が行われ、一般の参加者350人に、主催の鎌倉市老人クラブ連合会（通称みらいふる鎌倉）と鎌倉漁業組合の会員ら約100人が加わり、にぎわった＝写真。

「地域の元気づくり」活動の一環として行われている「三世代交流事業」で、今年で7回目。

子どもからお年寄りまで大勢の人が網を引き、網にはサワラ、ウルメイワシ、ヒガンフグ、ゴンズイ、スミイカなどが入っていた。いけすで獲れた魚の説明があった。

「漁は少なかったが、子どもたちも網を引く良い機会だったと思う。魚の勉強会もできてよかった」と実行委員長の鎌倉漁連・木村和俊さん。

老連会員らが用意したつみれ汁やポップコーンなどが振る舞われ、参加者たちは海岸で昼食をとった。

初めて参加した極楽寺在住の田山莉々也さん(10)茉莉さん(5)姉妹は「網がめっちゃくちゃ重かったけど、いろんな魚が見られてよかった」と楽しげだった。

予定していた魚のお土産がなかったのが残念、と関係者は話していた。

砂の芸術にパワー結集

葉山で砂工作大会

子どもたちが砂浜で大型のアート作品の制作に挑む葉山町主催の「サンドアートフェス～しおさいのメモリー」が10月6日、一色海岸で開かれた＝写真。初めての開催で、各子供会から9チーム約70人が参加し、5m四方に区切られた砂浜に個性溢れる作品を1時間半ほどで完成させた。

来場者の投票で人気を集めた作品が表彰され、特別賞の町長賞は、優雅に泳ぐイルカの群れと波を表現した「一色中央こども会」、教育長賞は真名瀬海岸から見える名島の鳥居や富士山を高々と築いた「真名瀬子ども会」、準優勝は「みどりヶ丘子ども会」が大きな2匹のタコを迫力いっぱいに仕上げた「海をながめるタコ友」が選ばれた。

優勝は「一色ときわ子ども会」の4人が力を合わせた大型作品「ウミイグアナ」。同会の母親らは「綿密な打ち合わせをしてよくがんばったと思う」と優勝を喜び、子どもたちは「松ぼっくりや枝で背ビレを工夫して飾った。葉山にもウミイグアナが来てほしいと思いながら作った」と笑顔を見せた。

でき上った作品の数々に昨年から企画を進めてきた生涯学習課は「想像以上にレベルの高い作品が多かった」と話していた。（K）

文学つれづれ ㊶

翁と乙女（九）

赤羽根龍夫

田植えはユイ組織という共同作業で行い、普通、牛は12匹以下、サゲ（田植えの指導者）一人に小太鼓一つ、早乙女も多くて三十人ぐらいであったという。田植えには田植え歌がつきものであるが、これは単調な労働の反復を助けるためというより、元来は収穫を祈念するためのものである。田植え歌は早乙女の朝の出立ち歌から始まる。

うらやかに門の扉を
開いてみたら
扉脇には鶯鳥がな
わさ田を植えて育てて
稲鶴姫と
苗の初穂は
先ずサンバイに参り正・
（ましょう）
美しく着飾った早乙女
たちの清らかな歌声に、
田の神も大いに共感して
田の稲孕みが促されるの
である。こうして朝昼晩
に12番の田植え歌がサゲ
の指導のもとに謡われながら、その日のうちに田植えが予定通りに終わる様になっているのである。渡辺昭五『田植歌謡と儀礼の研究』によりそれぞれの歌題とその内容を次に記しておこう。

田植えを指揮するさんばいさん＝『大田植と田植歌』牛尾三千夫著（岩崎美術社刊）より

朝歌一番　忍びの歌
（サンバイ降し→忍歌）
朝歌二番　朝日
（日の出→霧→露）
朝歌三番　化粧
（花折り→化粧）
朝歌四番　狩猟
（早乙女の衣装→鳥→狩猟→ヒルマ）
昼歌一番　開花
（ウナリ送り→花の礼賛）
昼歌二番　扇・京上り
（扇・京上り＝ウナリの上り）
昼歌三番　傘（笠）
（時鳥→風流傘）
昼歌四番　収穫
（鳥→京上り→ウナリ迎え）
晩歌一番　京下り
（京下り＝ウナリの下り→弓・鳥）
晩歌二番　？
（男女の恋）？
晩歌三番　万十郎？
（三人の聟→男女の恋）
晩歌四番　閨しのび唄
（男女の恋）？
上り歌　洗い川
朝歌一番で田の神サンバイを降ろしたあと、直ちに男女の忍び歌があり、露骨に男女の交わりを示す歌を歌う。

思う殿御と
口を吸いようての
恋に恋ひと思われて
口を吸いようての…
寝たるその夜はな
思う事さんげして
さらに寝られまいやれ…
思う殿御と
口を吸いようての
恋に恋ひと思われて
口を吸いようての…
忍ぶ殿のなりあうて
寝たるその夜はな
恋の道語りて
寝られまいやれ…

もちろんこれは男女が交わることによって田の神がそれに共感して稲の雌雄も交わって孕むとする共感呪術であり、村の男女が性の交わりをするのも、もともとは田の神とそれに仕える巫女としての資格においてであった。しかしやがて神事としての田植えの場は次第に若い男女の見合い懇愛の場の意味もあわせ持つようになっていったのである。

渡辺昭五によると、広島県佐伯町では昔は正月の初めの会合で、若い娘を持つ親は、「今年から田植えに出す」ということを村の若い衆を初め多くの人に紹介したという。

また秋田県本郷山本町では、サビラキの時に初めて田植えに出る早乙女があると、田に真っ赤な漆の木を立てたという。

さらに牛尾三千夫の報告によると、夕暮れが近づいて来ると若者達はそれぞれ自分の好きな早乙女の前に近寄って、太鼓を打ちならしながら今晩行くからと誘い、田植えが終わると娘を山の中にある小屋に連れ込んだ。日が暮れると小屋はみな共寝をする若い男女で満員となり、若い者が誘ってくれないような娘は肩身がせまかったという。

（神奈川歯科大名誉教授）

終の棲み家を考える ㊺

外壁材について

建物の外壁を何にするかで家のイメージが変わります。木造住宅で考えた場合でも幾つもの方法があります。①木を貼る②左官で仕上げる③石・タイル・レンガを貼る④金属板を貼る⑤サイディングを貼る―などが考えられます。

防火地区でも木材を使う方法があり、木の温かみのある外壁を造ることができるようになりました。

和風の家だけでなく、洋風の家にも合うようにデザインする事も簡単です。

左官で仕上げる方法は沢山あり、モルタルを塗った後塗装の吹き付け仕上げから、特殊な仕上げまで幅広くあります。また漆喰で仕上げたり、なまこ形や家紋や屋号を入れたりもできるし、石やタイルを貼る事もできます。しかし、建物が地震等で揺れると剥がれる可能性があるので、特殊な金物で固定する事もできます。サイディングも広く使われていますが、材質の薄い物やカラフルな色の物も多く、軽々しいイメージは払拭できません。何より問題は材料の繋ぎ目をコーキングで処理する事です。コーキングは防水的に考えるとあくまでも補助的で、安心できるものではありません。味わいのある家にするには、木や石・タイル・左官等本物で仕上げる事で生まれてくると思います。

■日向建設　鎌倉市大船1―15―3
☎0467・47・5454　http://www.hyuga.co.jp

訪問診療・往診
医）湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　訪問看護
訪問介護　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
診療時間
完全予約制
午前：9:00～11:30（火～土）
午後：2:00～ 4:30（火・木・土）
住所：逗子市小坪1－18－4
TEL：0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
各種健保扱・自費診療有

鎌倉朝日 発刊協力グループ 朝日新聞サービスアンカー
ASA鎌倉小町 材木座一―一〇―三七―一〇三 ☎22―3236
ASA鎌倉中央 長谷一―一九 ☎22―1004
ASA北鎌倉 大船一―二二―一六松栄ビル3F ☎38―7322
ASA鎌倉深沢 常盤二四七―二 ☎31―1444
ASA大船西部 玉縄一―一四―一 ☎46―6068
ASA大船南部 大船一―二二―一六松栄ビル3F ☎38―7322
ASA大船中央 大船一―二二―一六松栄ビル3F ☎38―7322
ASA腰越 藤沢市鵠沼藤が谷二―一―二三 ☎0466―27―8716
ASA藤沢南部 藤沢市鵠沼藤が谷二―一―二三 ☎0466―27―8716
ASA藤沢東部 藤沢市弥勒寺三―二二―一一 ☎0466―22―7409
ASA鵠沼東部 藤沢市鵠沼海岸二―一―一一 ☎0466―34―6924
ASA鵠沼西部 藤沢市鵠沼海岸二―一―一一 ☎0466―34―6924
ASA逗子 逗子市久木一―一―一一 ☎046―871―2368
ASA東逗子 逗子市沼間一―四―四 ☎046―871―6845
ASA葉山 三浦郡葉山町堀内一八〇八 ☎046―875―0515
ASA金沢八景 横浜市金沢区六浦一―二一―三 ☎045―782―2859
ASA大船北部 横浜市栄区笠間四―一―九 ☎045―891―0986